

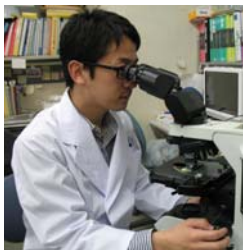
# 国際的に活躍できる 研究者を目指す

～ 修了生からのメッセージ ～



**田中 努**  
(平成 27 年 9 月修了)  
北海道大学  
遺伝子病制御研究所癌生物分野  
非常勤研究員

“私一人が新たな知識を持って助けられる動物には限りがあるが、私と同じ知識を持った人が増えれば助けられる動物は無限である”。ある実習で出会った先生から頂いた、この言葉で私は大学院への進学を考えるようになりました。もちろん、私自身が何か特殊な知識・技術があるわけではありませんし、研究成果がすぐに命を救うわけではありません。研究も失敗の連続で何度も挫折しそうになります。しかし、報告した事柄が世界中で研究され将来多くの命を救うと思っています。より多くの命を救いたいと考えている方は大学院への進学を考えてはいかがでしょうか。



**松下 幸平**  
(平成 27 年 3 月修了)  
国立医薬品食品衛生研究所  
病理部 研究員

私は社会人院生として進学いたしました。仕事と研究の両立にはそれなりの忍耐を要しましたが、とても刺激的で充実した生活を送らせてもらいました。大学院の卒業後は様々な進路がありますが、ここで身に付く科学的な思考能力はどの分野でも応用可能ですので、同じ仕事をするにしても一層深い理解をもって高い視点から物事を考えられるようになることは間違いだと思います。多忙な生活は付きものですが、研究あるいは研究者という響きに少しでも魅力を感じる学部生や、もう一度学び直したいという社会人の方には、大学院進学はお勧めの選択肢だと思います。



**橋野 正紀**  
(平成 28 年 3 月修了)  
AMED リサーチレジデント  
国立感染症研究所  
病原体ゲノム解析研究センター

大学院では様々な貴重な経験をさせていただきました。国内外での学会参加や大学院生との交流は、研究に対する視野を広げてくれる経験でありました。もちろん、研究活動には辛いこともありました。実験での失敗や研究発表の難しさ等に直面する度に落ち込むこともありましたが、周囲の方々の支えにより無事に修了することが出来ました。修了時には、大きな達成感を感じるとともに、今後も研究活動を続けたいと思えました。大学院課程は長いと思われるかもしれませんが、挑戦しがいのある環境であるので、将来の選択肢の一つとして考えてみてはいかがでしょうか。

# 自分の可能性への挑戦

～ 院生からのメッセージ ～



**草木迫 浩大**  
(鹿児島大学配属 3 年生)

現在、鹿児島大学感染症学研究室に所属しています。学部生時は、特に大学院進学を意識したことはなく、大動物臨床をしたいと考えていました。しかし、学部生時の研究室配属で現在所属する感染症学研究室に所属することとなり、さらに私自身も想像もしていなかった大学院生となって現在に至ります。獣医学の領域は広大で、多岐にわたります。ヒトと動物、そして研究を繋げるこの出来るのは獣医学の重要かつ素晴らしい所だと思います。大学院への進学は、勇気の要る決断だと思いますが、広い獣医学という世界を訪ねるのもいい経験になると思います。



**矢部 滝太郎**  
(山口大学配属 3 年生)

私は山口大学獣医薬理学研究室に現在所属しています。私が大学院に進学した理由は、今しかできないことができると思ったからです。個々の研究室によって環境は異なると思いますが、連合獣医学研究科は研究設備が充実しており、また研究熱心な先生方や先輩方に囲まれて最先端の研究をすることができます。そしてこういった恵まれた環境に加えて、この研究室生活が楽しいと思える人間関係があってこそ、良い研究ができると思います。もし研究室生活が楽しいと感じているなら、大学院進学を考えてみてはどうでしょうか。



**黒田 晃平**  
(鳥取大学配属 2 年生)

私は鳥取大学獣医画像診断学研究室に所属し、附属動物医療センターの診療と大学院の研究で多忙ですが、充実した日々を送っています。大学院での研究生活は決して楽なものではなく、思うような結果が出ないことも多いかもしれませんが、苦労が多いほど、それを乗り越えたときの達成感も大きなものになるかと思えます。本研究科では、他大学所属の大学院生や留学生、先生方との関わる機会も多く、その達成感を得るための十分な環境があると思います。研究に興味がある、大きな達成感を得たい、そんな人がいれば大学院進学も検討してみてください。



## Message from Kiran

PANDEY KIRAN  
3rd-year student  
from Nepal

It has been a fabulous time at this university - both in academic and everyday life. The troubleshooting approach, love for nature and history, and the ready-to-help attitude of Japanese have highly influenced my activities. It was also a great opportunity to be among friends from different parts of world. Thank you YU.

## グローバル活動



名誉 UVY フェローによる講演

オーストリア大学教員の Tamas 先生 (平成 27 年度に名誉 UVY フェローを授与) 「帰国留学生を活用したグローバル人材育成」事業の一環として来日いただき、研究と診療活動についての講演を行っていただきました。



ネパール研究者との懇談会

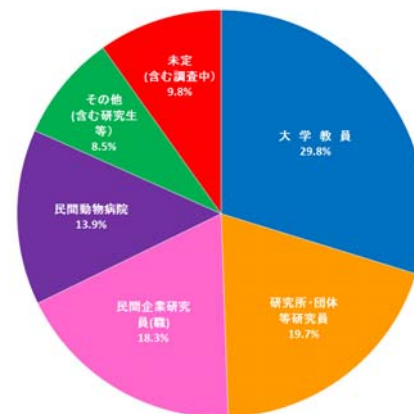
2015 年にネパールを襲った震災を受け、研究科では復興に寄与できる獣医公衆衛生・感染症対策者養成への国際協力として、ネパールより 5 名の研究者を招聘しました。



ジョイントシンポジウム

ベトナムハノイ市郊外にて開催された第 7 回東アジア大学獣医学シンポジウムに教員 (5 名) 及び院生 (8 名) が参加しました。シンポジウムは 4 カ国・地域 (ベトナム、台湾、韓国、日本) 6 大学 2 機関の研究者及び院生が集まり、教員による基調講演や院生による研究発表等が行われました。

## 課程博士の 就職状況



平成 28 年 4 月現在

## 年間行事

共通ゼミナール  
日程：夏季 (8 月下旬頃)  
会場：鳥取大学、鹿児島大学、山口大学で順次開催。



学生研究発表  
3 年生は英語で研究の発表をします



ポスター研究紹介  
2 年生はポスターで研究の紹介をします



懇親会  
他大学配置の学生と交流を深めます



学生研究発表及びポスター発表者のうち、研究科長が特に認めた発表については、研究科長より表彰状及び記念品が贈られました

写真：平成 27 年度 鹿児島大学にて



学位論文公開発表会  
9 月修了：7 月下旬頃  
3 月修了：1 月下旬頃

配属大学で公開発表会を行います。



院生主催セミナー  
27 年度は 11 月と 3 月に開催。他分野において国内外で活躍されている若手研究者を講師として招聘し受講することにより、本研究科の研究活動のさらなる活性化を図るとともに、院生自身がこの特別講演会の主体となって企画・運営することで、院生の自主性を育てることを目的としています。



学位授与式  
平成 28 年 3 月 17 日 (木)  
山口大学学生会館大ホールにて山口大学大学院学位記授与式 (課程博士) を挙行了しました。連合獣医学研究科では、課程博士 4 名、論文博士 3 名の方が授与されました。